




YASUI STYLE
BUSINESS GUIDELINE

Handwritten signature or mark.

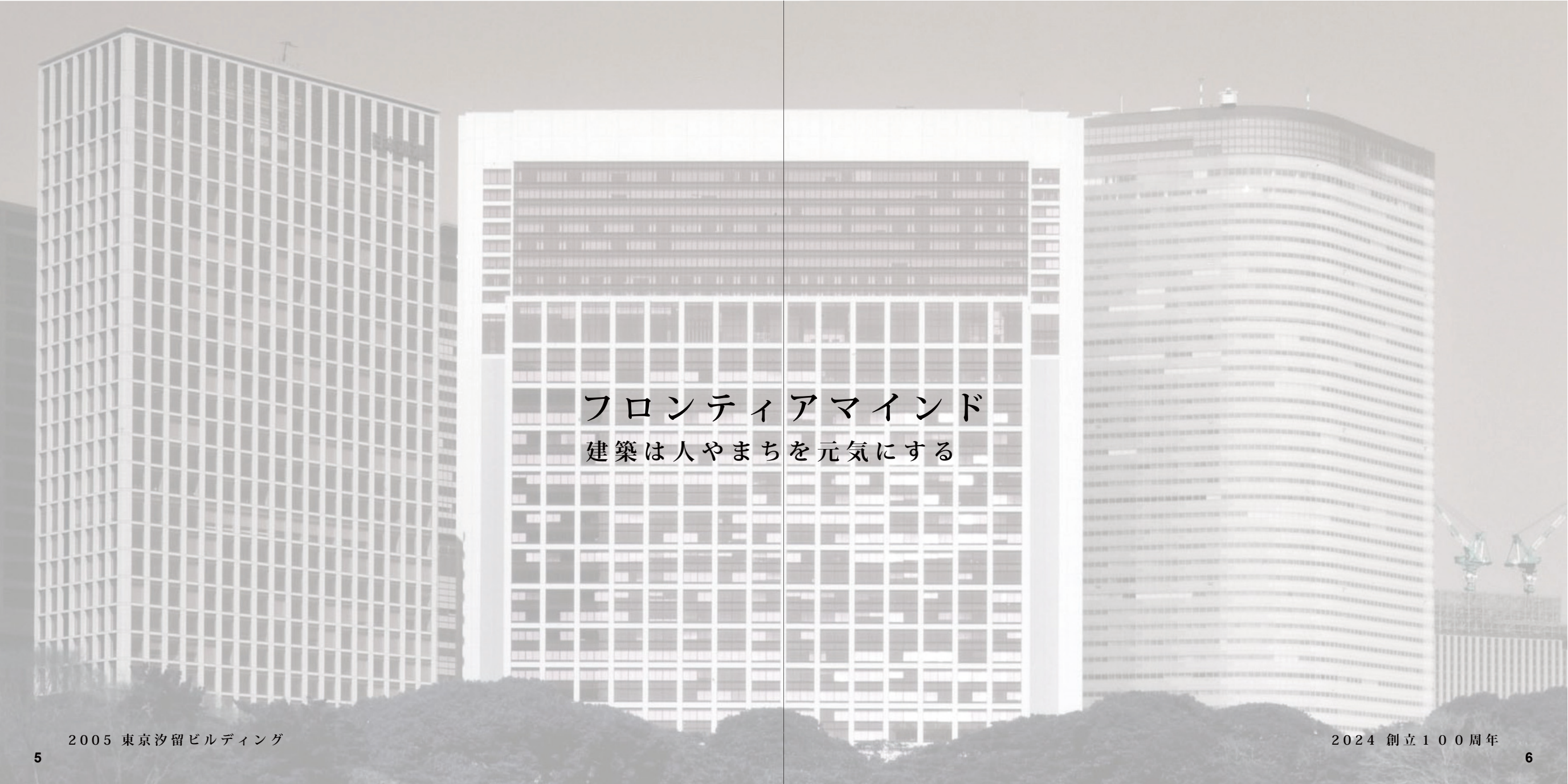


すべてのできごとに

建築を変える

The image shows the interior of the Suntory Hall, a modern concert hall. The stage is a large, curved, multi-level platform with a light-colored floor. The seating is arranged in a semi-circular pattern, with multiple tiers of seats. The walls are a light, neutral color, and the ceiling is high with a complex lighting system featuring numerous hanging fixtures. The overall atmosphere is clean and modern.

可能性がある



フロンティアマインド
建築は人やまちを元気にする

はじめに

社会は人と人が結びあうことで成り立っています。

家族同士、国と国、どれもおなじでしょう。

そうした良好な関係を保つために、

建築という「目に見えるかたち」が果たす役割は

大きなものがあります。

その場を適切にしつらえることによって、

お互いをきちんと認めあうことができるからです。

人類の歴史をかたちづくるうえで、

建築は重要な使命を担ってきたということがいえます。

さらに、建築にはあらたな時代の展開を呼び覚ます

「目に見えない大きな力」が宿っています。

私たちは、その手ごたえを感じているでしょうか。

これからも、建築を設計するという仕事は、

この社会が希望とともに歩みつつけるかぎり、

この任務を引き受けてゆくことになるでしょう。

それだからこそ、建築は丹精こめて生み出すべきものと、

あらためて感じます。

この本に盛りこまれたステートメントに到達するまでに、

おおくの議論が重ねられ、

言葉を練りこんでゆく作業が進められました。

このさき、安井建築設計事務所という組織に

かわりあうひとたちはどのように結びあうのか。

社会のために何を目指そうとするのか。

そして、建築を設計する者すべてが

感じとるべきことは何なのか。

観点はさまざまに広がりますが、

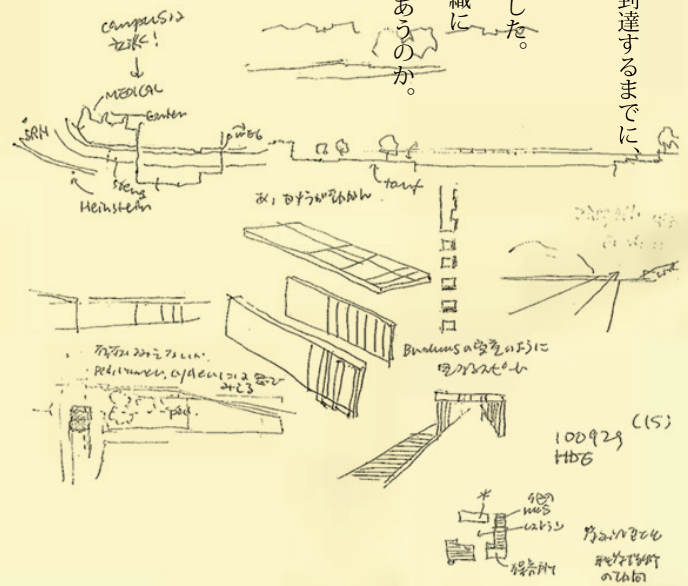
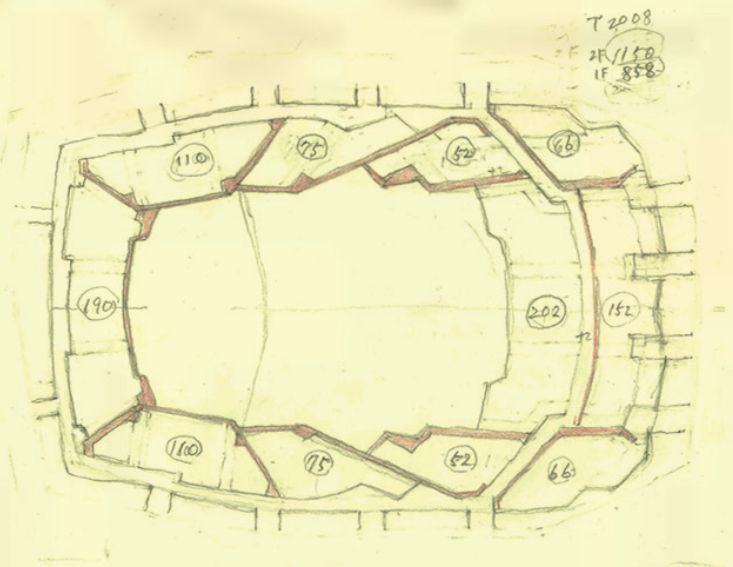
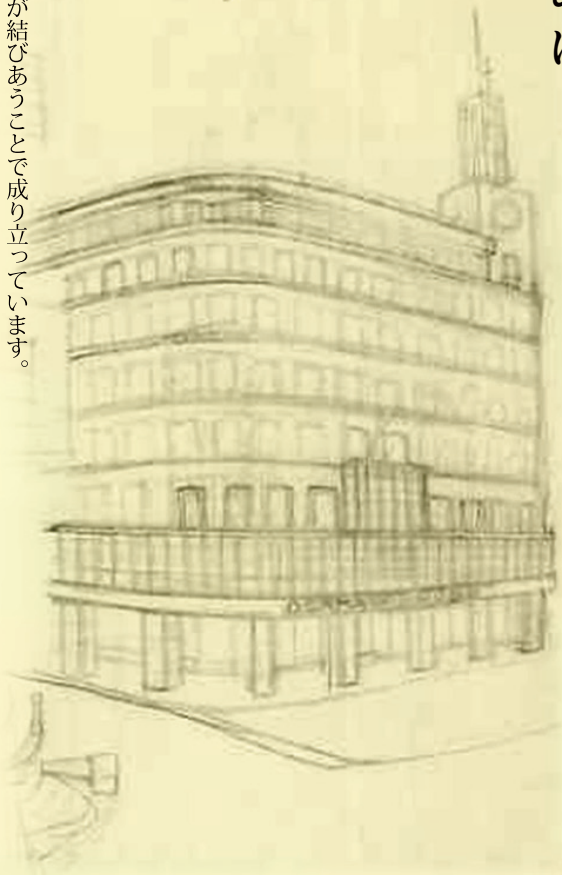
基本となる問題意識は明瞭です。

ここまでの歩みを見つめ、

ここからさきへと旅を続けるために、

YASUI STYLEは小さいけれど、

とても強い力を持つものとなるでしょう



佐野 吉彦

C O N T E N T S

7 はじめに

11 YASUI STYLE BUSINESS GUIDELINE とは

13 素敵な仕事にする

職場の笑顔はよりよい仕事につながる
絶えずテーマを持って仕事をする
未来をつくるのはいまここにいる自分たち
期待を驚きに変えるためには
自分に言い訳をしない

エッセイ 01 ●想いをカタチにする

19 魅力ある人材を育む

個人の能力を引き出す
退屈な毎日から、よいデザインは生まれない
前のめりの姿勢が成長を促す
個性が連携しチームに化学反応を起こす
みんなが会社の顔になる

エッセイ 02 ●そんな人に、私はなりたい

25 時代に対応できる組織であり続ける

経営理念、経営ビジョンが根幹
100年企業をめざすビジネスコンセプト
顧客と建築の将来を見据えた仕事にする
チャレンジングスピリッツ
世界にはまだ見ぬ出会いがある

エッセイ 03 ●Next one

31 社会とのつながりを大切にする

情報管理・コンプライアンスの徹底が信頼につながる
安全安心は最優先される
地域想い、環境想いの建築をつくる
地域・社会活動でまちを元気にする

エッセイ 04 ●変わったもの。変わらなかったもの。変わるべきもの。

37 あなたのガイドライン

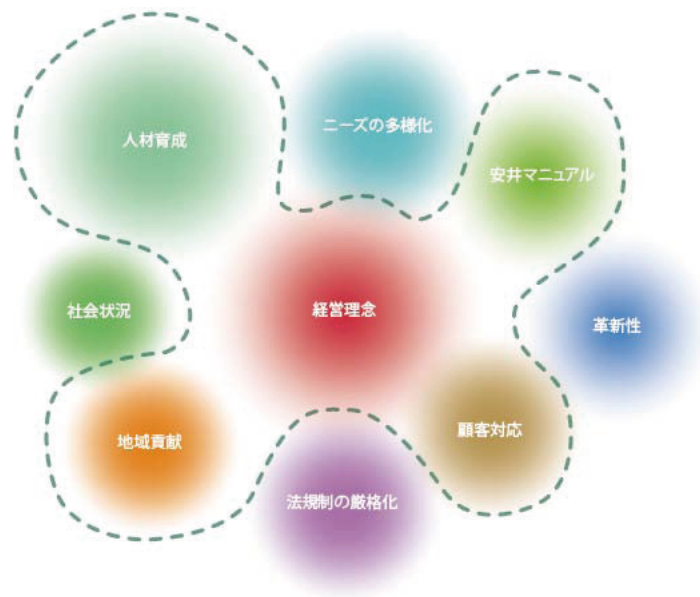
38 あとがき



安井スタイルとは

安井建築設計事務所は、
「創業からの歴史を踏まえた着実な建築創造活動を通して、
顧客と社会が求めるものを的確に実現する」
という経営理念を達成するため、日々の業務を推進しています。

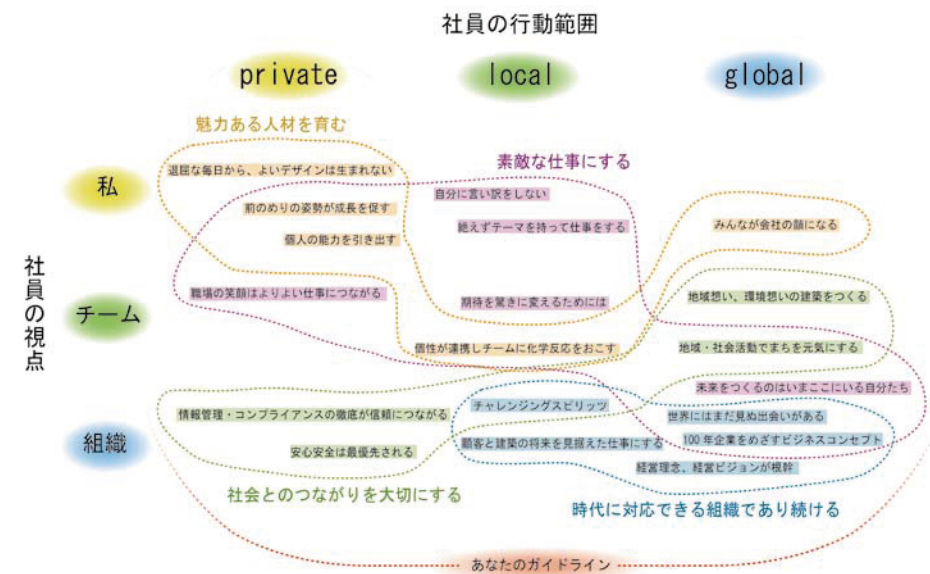
現在の流動的な社会への対応と組織の持続的成功のために当社の長い歴史の中で、“暗黙知”として脈々と受け継がれ蓄積されてきたものがあります。これに、私たちの将来に渡る“あるべき姿”を重ね合わせ言語化したものが「YASUI STYLE」です。



「YASUI STYLE」は以下の4つのテーマとそれに伴う20の行動規範から成り立ちます。

- 『素敵な仕事にする』
- 『魅力ある人材を育む』
- 『時代に対応できる組織でありつづける』
- 『社会とのつながりを大切にする』

この4つのテーマは個人、チーム、組織、そして社会といった異なる視点において、私たちをとりまく個人から社会までの様々なレベルの環境に対してどう働きかけるべきかを示したものです。



素敵な仕事にする

絶えず**テーマ**を持つ

「誇りと情熱」

強い意志と

仕事を**追及**する

目尻にシワの多い設計者集団

自分の**最高**をめざす

明日の建築を描き出す



私たちの仕事は、多くの建築設計事務所の中から顧客に選ばれるという運命的な出会いから始まっています。これらの様々な巡り合わせで携わる仕事だからこそ、私たちには建築を通じて顧客に最高の提案を示し、素敵な出会いへと変える使命があります。そのため、日々真摯に建築と向き合い、日常の業務に十々の提案を加えて、「素敵な仕事」へと昇華することが必要です。「素敵な仕事」にするということは、顧客の夢をかなえるとともに、私たち自身の働く意欲にもつながっています。

職場の**笑顔**

大きな感動と充実感

粘り強い努力

限界をつくらずに**ひたむき**に

期待を**驚き**に変える

職場の笑顔はよりよい仕事につながる

毎日働く会社では、誰も暗い顔など見たくないはずです。社員がいきいきと楽しく目を輝かせて働ける職場であれば、それ以上幸せなことはないでしょう。しかし、私たちが携わる仕事は、非常に厳しい一面をもっています。困難な局面を乗り越えた先に待つものは、大きな感動と充実感、そして最高の笑顔です。妥協するとその笑顔にはたどり着けません。妥協せず成し遂げた仕事が、やがて顧客の笑顔へと結びついていきます。

職場の笑顔をつくるのは自分自身。気持ちの良い挨拶、仲間を思い遣る心配り、成果を賞賛する広い心。基本的なことから心がけ、日々の仕事と向き合ってみましょう。社員を大切に想う会社と社員の意識が相乗効果を生み、幸せを感じられる職場を実現できるのです。眉間のシワが隠れるくらい目尻にシワの多い設計者の集団になることができれば、私たちが日々携わる業務は「素敵な仕事」と呼べるはずです。

大きな困難にも諦めずに向き合い、最高の笑顔の味を覚えましたか？



絶えずテーマを持って仕事をする

私たちは日々の設計活動の中で、常に“テーマ”を抱きながら業務に取り組んでいます。それは目の前のプロジェクトに対するもの、また、個人の1年や1日、これからの1時間の目標等、日々の小さな積み重ねが将来の大きな成果に繋がります。

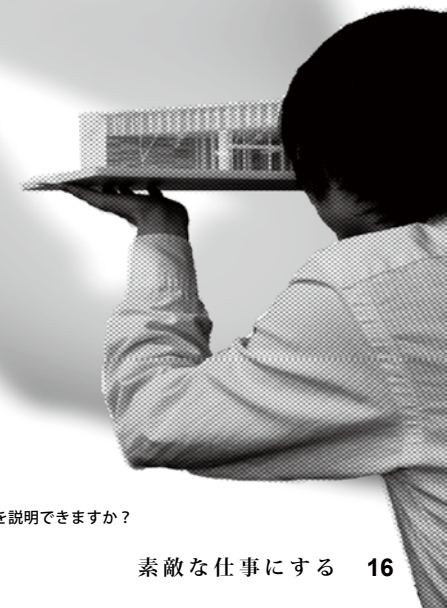
特に私たちの仕事の根幹である設計プロジェクトの遂行において、テーマの明確化は最重要項目のひとつです。設計段階初期で創り出したテーマを追求し具現化するためには、設計者の強い意志と粘り強い努力が必要です。こうしてできあがった建物には、はじめてテーマに相応しい「タイトル」がつくと考えます。顧客、設計者、施工者をはじめ関係者の想いの詰まったタイトルのある建物が街に点在することで、「建築はひとやまちを元気にする」という私たちのビジョンを体現します。

テーマを“決める”ではなく“うちたてる”くらいの気持ちで取り組んでいますか？ 私たちの代表作品における技術的な挑戦を説明できますか？

未来をつくるのはいまここにいる自分たち

新しいプロジェクトが始まる時、まだ見ぬ建築の姿を想い、私たちは密かに心躍らせます。私たちの諸先輩も、時代が求めた建築の姿を実現しようと、熱い思いを胸に、試行錯誤を繰り返してきました。

私たちは諸先輩が築き上げてきた建築から多くを学び、その技術を継承しながら、明日の建築を描き出そうとしています。その技術をつくり出したのは、何よりも建築にかける熱い思い。明日の建築を描き出すために、私たちは創業者の理念である「誇りと情熱」をいつも胸に抱いています。



期待を驚きに変えるためには

顧客から要求されたことや指示されたことを行うだけで満足していませんか。それではプロの設計集団とは言えません。顧客の要求を満たし、法令を遵守することは最低限であり、その先にある建物固有の魅力を生み出せる人・集団を、人はプロフェッショナルと呼びます。私たちはもっと顧客と対話し、少しでも理想や正解に近づくため歩み寄り、相互理解を深める必要があります。顧客と夢を共有し、それを自分のものとして展開させていくことが重要です。では、具体的にどうすれば、夢は広がるのでしょうか。その鍵は、プレゼンテーションにあります。イメージを膨らませることで、夢はさらに広がりを見せ、より深く具体的になるのです。「こんないものができるなんて想像もなかった!」と思ってもらえる仕事を皆でやりとげましょう。

自分に言い訳をしない

私たちは顧客に最高の価値を提供する自信があります。これは長年蓄積された裏づけからくる技術力をもって、仕事に取り組んでいるからだけではありません。また、顧客と対話を重ね一つひとつ積み上げてきた多くの実績をもっているからだけでもありません。顧客へ最高の価値を提供できるのは、まず自分に決して言い訳をせず、自分が納得いくまで仕事を追及する覚悟があるからです。例えどんなに厳しい状況であっても、それは言い訳にはなりません。そんな時こそ自分の力が試されていると考えています。限界をつくらずひたむきに最高の自分をめざし、昨日の自分を乗り越えていく作業、これが仕事に取り組む上での原点です。

OK

想いをカタチにする

あつと言う間に顧客が考えていることを読み取り、迷わず図面を引く。そんな魔法が使えたらどんなに素晴らしいことでしょうか。実際には私たちの仕事は、本当に色々な制約があります。長く愛されるための建築として、法条件に適合する建築として、コスト、環境性能、構造合理性、都市計画的な調和…
こういった諸条件を魔法を使わずとも時間をかけて結びつけ、また解いていく。建築はあるものがあるべき形に整えていくことに似ています。整える、新しい道筋をつくる。それは時に地道な作業もあり、また困難な状況もあります。それでも私たちの仕事は素敵でしょうか。

2011.3.11以降、私たちを含めた日本中が他者を思い遣ることの大切さを実感しました。他者・街とかかわることの大切さを、私たちは孤立しては生きられないことを。困ったときに助け合うだけでなく、他者とかかわることで多くの喜び・癒し・時に成長を得ることもできます。

“素敵”、そのひとつは私たちの仕事も他者である「顧客・エンドユーザー」の喜びに支えられていることです。自分たちが顧客とともに結実させた「カタチ」が多くの人の笑顔を生み出している。それはとても素敵なことです。

リフレッシュも大事よ

早く見たいですね

今回の場合、私はこうすべきだと思います

絶対に達成する

目指すべきものは

やってみるか

!

この案のほうが良いのかも

難しいですね、何とかするために少し考えてみます

うきうきするんで

この計画は3つの骨格で

そういう考え方もありますね

地域に活力を与える建

きみと仕事できてよかったよ

Do my Best

すごいいいアイデアですね

成立っています

そういう考え方は共感もてますね

□「どうすれば相手に伝わるか」を心かけてプレゼンテーションを行っていますか？
□どんな体験があなたを成長させましたか？

ああ、そうきましたか!

それ、合格!!!

非常に分かりやすい

地域に活力を与える外観を目指します

斬新。



魅力ある人材を育む

強いモチベーションと広い好奇心

会社の顔となる

前のめりの姿勢

成長への原動力

充実したワークライフ

—科学反応—

アイデアの引き出し

一人ひとりの高い意識

苦しみから学ぶこと

さあ、つま先に重心を

自分のために働く

あ・うんの呼吸

組織の価値は、顧客・社会からの信頼により計られます。顧客とひざを付き合わせて仕事をするのは社員一人ひとりです。技術力・デザイン力等の専門能力はもとより、各個人の豊かな人間性や幅広い知識と経験が、素敵な出会いや仕事へとつながります。「是非とも安井建築設計事務所の人と仕事がしたい、お願いしたい」と言ってもらえる魅力は「人間力」を育むことが、組織の力を強く大きなものとなります。



個人の能力を引き出す

社内外問わず研修に積極的に参加するなど、日々知識を蓄積する努力を重ねていますか。休日に新しいものや面白いものにできるだけ触れて、アイデアの引き出しを増やす作業を行っていますか。それらを意識的に継続することで知性と感性が刺激され、個人の能力は果てなく高めることができます。自分の知識の範囲だけでは、あっと驚くアイデアは生まれません。日々新しいことを考える、実現しようと試みる姿勢が、建築のオリジナリティへとつながっていきます。

日々の業務で直面した困難や、経験した苦しみから学ぶことが、圧倒的に大きいということを忘れてはいけません。デザインを分かりやすい言葉で語る力や、アイデアをまとめる力は、教えられるものではなく、そのような現実により養われていく能力です。未来のなりたい自分をイメージして、今吸収すべきことを見逃さぬよう、日々アンテナの感度を高めていきましょう。

退屈な毎日から、よいデザインは生まれない

仕事だけの毎日を送っていませんか。また、それを組織のせいにしていませんか。充実したワークライフは自分の手で生み出すものです。会社のためだけでなく「自分のため」に働けるようになれば、自ずと効率的かつ質の高い設計・時間管理を行えるはずです。仕事と私生活のバランスを崩してしまうと、意識や考え方を狭くしてしまいます。退屈な毎日からよいデザインは生まれません。まずは仕事のメリハリを心がけ、バランスよく休暇の取れる環境を自らコントロールしましょう。また、地域活動への積極的な参加、新しい趣味の発見など、自らの知見を積極的に広げるようにし、味気ない日々から脱却しましょう。

今の自分に足りないものを意識し、吸収すべき努力を行っていますか？ Did you have a vacation?

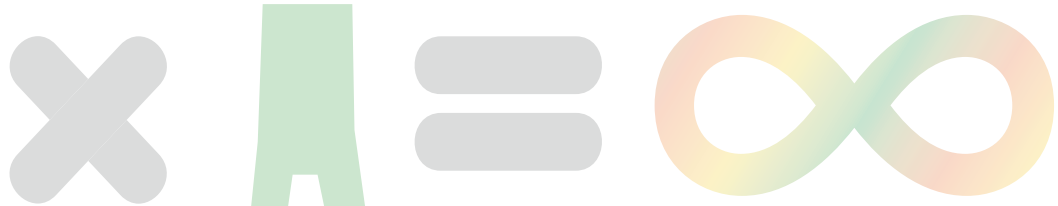


前のめりの姿勢が成長を促す

私たちの仕事は、「顧客のニーズに応え建物として具現化する」だけではありません。少しでも工夫することで、より優れたものを提供しようとする心意気を持ち続け、「建物に更なる付加価値を与える。」ことは必要条件とも言えます。建築物の公共性や社会貢献、顧客のニーズ、技術等、設計活動が対峙する事象には固定的なもの一つもありません。その中で、付加価値を生み出す力は、基盤となる組織の総合力はもちろんのこと、設計者一人ひとりが強いモチベーションと広い好奇心を源とした、「生涯挑戦し続ける・学び続ける」という姿勢です。目の前のプロジェクトに全力で取り組む前のめりの姿勢。日々自分が前進するための基本姿勢であるという意識をもてば、行動は変わってくるはずです。さあ、つま先に重心を。



自分が主役と思って、行動していますか？



個性が連携しチームに化学反応を起こす

私たちは安定感のある組織力のもと、顧客への信頼を築いてきた歴史があり、今後もこれを武器にプロジェクトを進めていきます。また、私たちは組織を形成しているスタッフ一人ひとりの個性を大切にすることで、各自の力を発揮しやすい環境づくりに努めてきました。

個性は時に自分にしかできない強みとなります。私たちはチームでプロジェクトを進めており、“あ・うんの呼吸”で各自が連携することで目に見えない化学反応を起こし、個人の集合体では成し得ないクリエイティブで強いチームを形成できると考えます。

私たちはこの化学反応をさらに連鎖させていくことで、組織に変革をもたらし成長への原動力へとつなげていきます。

みんなが会社の顔になる

それぞれのプロジェクトを推進するチームは、経験豊富なメンバーを中心に構成されています。私たちは、プロジェクトのプロセスにおいて、チームのメンバー一人ひとりが大きな役割を果たしていることを認識しなければなりません。プロジェクトを成功させるのは、私たち社員一人ひとりなのです。さまざまな場面で求められる判断は、私たち個人のものでありながら、同時に会社の判断ともなりうるのです。

会社の代表として振舞うことが求められるのは、プロジェクトに携わる場面に限りません。時として私的な場面でも私たちは組織人としてふさわしい行動を求められます。どんな場面にあっても、組織の代表として誇りを持ち続けること。一人ひとりの高い意識が、より素晴らしいブランドをつくり上げていきます。



安井の化学反応式

今のプロジェクトにおいてあなたの役割は何ですか？

常に自分の仕事に誇りをもち、自分を律するよう心がけていますか？

そんな人に、私はなりたい

「また、あなたと仕事がしたい、」と、
そんな言葉をいただけたなら…

毎日、いろんな人と出会い、いろんなことが起こる。
ふと、今日一日何があったろう、と思い起こす。
そのぼんやりした想像の中で、キラッと輝ける人、

それが、仕事の一場面であるとき、
その人は何をしていたか、

リズムカルな会話、脱帽してしまう知識、
的確な質問・見解、止め処なくあふれ出るアイデア、
広がり続ける好奇心、たくさんの引き出し、
かゆいところに手が届く気配り、きらきらした眼差し、
ちょっと前のめりの姿勢、

そんな人との仕事ではどんなことがおこったろう、

予想を超える展開、期待以上の成果、
思いがけないうれしい出来事、

そんな人に、私はなりたい。



時代に対応できる
組織でありつづける

100年企業をめざす

将来を見据えた

ビジョン

同じベクトルを向いて協働する

多様な媒体からの情報収集



愛し、愛され続ける **建築**

顧客の夢を豊かにする

チャレンジング
スピリッツ
イノベーション

フロンティア・マインド

安井建築設計事務所は八十年以上にわたり、設計活動を行ってきました。私たちは、時代の流れを見定め状況に応じて組織のカタチを変化させてきました。先の見えない時代ごとの柔軟な対応・常に新たな切り口を探索しつづける姿勢により、組織が長期にわたり存続することを可能にしました。いつの時代でも、私たちは変わり行く社会に目を配り、時代に対応できる組織でありつづけるを同時に『誇りと情熱』『フロンティア・マインド』をもってプロジェクトに真摯に向き合うことを忘れません。

経営理念、経営ビジョンが根幹

プロジェクトチーム会議では、意見の違いから白熱した議論となることが多々あります。そんな時、大きな目標の共有を確認できていれば、最終的に案は収束し、より良いものとなります。私たちは、組織の経営理念「フロンティアマインドおよび社会的責任」を共有することで、同じベクトルを向いて協働することを基本にしています。

その理念は、組織が成長するための将来を見据えたビジョンであり、私たちが日々の業務で迷いがあるときに、判断の指標となるものでもあります。私たちは個々の目標やポリシーと、共通する会社の理念を併せ持つことで、より強い組織力やチーム力を発揮できると信じています。

100年企業をめざすビジネスコンセプト

私たちは2024年に創業100周年を迎えます。100年企業とは、単に歴史を継承してきただけの企業でしょうか。時代を超えて長く愛される企業には共通して、「伝統を継承すると同時に時代に合わせた革新をつづける」という精神があります。現在の経営理念である「フロンティアマインドおよび社会的責任」。この言葉には、従来どおり顧客と社会が求めるものを実現しつつも、常に新しいチャレンジを忘れないという意味を込めています。私たちの仕事は多岐に渡っており、社会情勢に広く視野を向けることが求められます。例えば、仕事と仕事を結びつける「橋渡し」のようなイノベーションにチャレンジすることも可能です。単に建築という分野にとどまらない、ビジネスチャンスを探る姿勢こそが長く組織が受け継いできたマインドです。

顧客と建築の将来を見据えた仕事にする

私たちの仕事はただ単に建築を完成させることではありません。これまで設計や監理が中心であった建築設計は、社会・顧客のニーズにあわせ、多種多様化しつつあります。いま私たちに求められているものは、その土地における建築資産価値の向上や施設管理の合理化、まちづくりへの貢献などプロジェクトの初期段階に構想することをはじめ、維持管理、運用時の有効な資産管理などの竣工後のアフターケアまで至ります。その中で、私たちが構想段階から建物の運用まで、建築の生涯に携わるために、顧客や建物ユーザーのニーズを理解し、同じ視点で物事に向き合うことを大切にしています。私たちは建物のライフサイクルやプロジェクトに関わるすべての人々と共に歩み、生涯愛し、愛され続ける建築の創造をめざしつづけます。

経営理念、経営方針を自分の言葉で社外の人に説明ができますか？

先人の挑戦する姿勢を継承していますか？

手がけた建物は今でも好きですか？

チャレンジングスピリッツ

毎日多くの業務に追われ、仕事内容がルーチン化していませんか。変革の激しい経済状況により、顧客ニーズも日々変化しており、建築についても同じことが言えます。私たちは顧客が求めるもの、社会から求められているものを実現し、未来のスタンダードを創造すべく日々の業務に取り組むことを社会から要請されています。しかし、新しいチャレンジは未来をよりよくするものではありません。着実なデータ収集を怠ると時に逆効果となる場合があります。私たちはこれらのリスクを意識しつつ、前へ一歩踏み出し行動に移すチャレンジングスピリッツを胸に秘めています。不安を自信へと変えるべく、プロセスやアプローチ方法、視点を少しでも変える意識をもち、日々発見という刺激に満ちた生活につなげていきましょう。

視点やアプローチを変えてトライしてみは？

世界にはまだ見ぬ出会いがある

従来の顧客とのお付き合いをより深いものにするために、そしてまだ見ぬビジネスパートナーと出会うために、組織は日常的に、多様な媒体からの情報収集を怠りません。新鮮な情報と私たちが蓄積したノウハウの融合により、顧客と共有している長期的ビジョンを更新しながら、さらなる一歩のための継続した支援を心がけています。国外においても経験豊かな専門の設計チームと世界各地の協力事務所との連携が可能です。国内外問わず、組織が培ってきた独自のノウハウと共にその土地にあった建築づくりをタイミングよく提案します。カタチになっていない夢、ふっと湧き出した問題。それらを「なんとかできないか」と思う顧客のピュアな想いから、建物に関するあらゆることへの挑戦が始まります。

夢をより豊かにするビジネスパートナーであり続けたいと考えます。

会社以外のお付き合いを大切にしていますか？

Next One

「はい、本日すぐうかがいます。」と初めて電話したメーカーさん。
「こんな感じのエントランスが作りたいたい！」と楽しそうに語る顧客。

その彼らの言葉は個人にむけてだけではなく、その先の、組織が培ってきた80年以上の歴史に対して投げかけられていることに気づくまでに、それほど時間はかからなかった。様々な顧客と対話を重ね、それ以上に社内で何度も対話を繰り返しながら、しっかりと価値観を交換し合うことを通して、挑戦を積み重ねてきた組織。

組織により大きな風穴をあけよう。

よどみがないように、一個人の経験をなるべく多く蓄積し、どれだけ純度を維持しながら未来に引き継ぐことができるか。

組織の未来は、必ず対話の先にある。

歴史的喜劇俳優チャールズ・チャップリンが、記者に「ご自身の最高傑作は？」と聞かれて答えた言葉は「Next One (次回作さ)」。

今の自分に満足しない、問い続ける姿勢を大事にしたい。



社会とのつながりを大切にする

木を植えるように建物を育てる

あらゆる自体を検証する

人やまちを元気にする

人と人を結ぶ建築

情報管理・コンプライアンスの徹底

地域想い・・・

「信頼」というブランド

巧みな「技」と正しい「心」

環境想い・・・

安全・安心を守る

建築を通じた社会貢献

まちを元気にする

建築の魅力はデザイン性だけではありません。建築には、人、地域、社会を元気にする効果があります。私たちが携わった建築を舞台に素敵な人々の営みが行われることは、私たちにとってこの上ない喜びとなります。ここでは、建築が人と人とを結ぶ役割を果たしています。

私たちが、人、地域、社会を思い遣り、まちづくりとの連携・文化活動支援・次世代への貢献を行うことは、互いに高め合い、より活気ある社会の実現へとつながります。

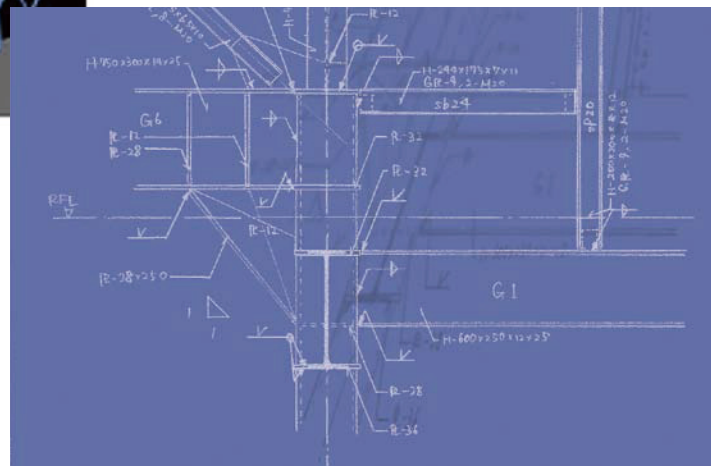
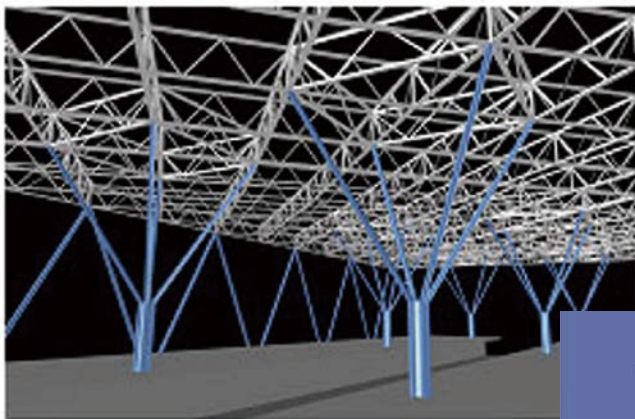
情報管理・コンプライアンスの徹底が信頼につながる

組織のコンプライアンスとは法律や規則など、基本的なルールを遵守して活動することです。

組織体として規範を策定し遵守することが大前提となります。

さらに、社員一人ひとりが合法性を検証しつつ設計行為を行う「社会への責任」を担っています。

私たちが顧客・社会に信頼され貢献し続けられてきたのは、顧客情報や私たちの知的財産を守り、コンプライアンスを徹底してきたからこそです。「信頼」というブランドをさらに高めるために、私たちは自身の知的財産を適正に扱い、社会的モラルを守ることが大切だと考えています。



情報管理・守秘義務を意識して仕事をしていますか？

安全安心は最優先される

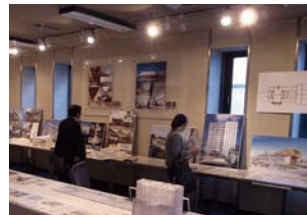
建物が果たすべき一番たいせつな役割は、顧客の「いのちを守る」「生活を守る」ことです。私たちが建物を設計する上で、いつも最優先に考えなくてはならないことです。顧客の安心・安全を、私たちは社内の二重、三重のチェック体制やこれまでの長年の経験を活かし、安定した品質を担保していきます。また、万一の災害時においても建物が機能し、事業継続できるように、設計段階においてあらゆる事態を検証し、運用段階における様々な事態に対応できる災害に強い計画を立案します。私たちの持つ巧みな「技」と正しい「心」により、顧客と建物そして地域の安全と安心を守り続けます。

顧客の安全・安心を担保することをつねに意識できていますか？



地域想い、環境想いの建築をつくる

「木を植えるように建物を育てる」それが私たちの理想です。多くの木々に動物が集まり、木の実を食べた動物の排泄物が土壌を豊かにし、新たな植物を育みます。それぞれの建物が各々の快適性を求めるだけでなく、周辺地域を想い環境にやさしくあることで、長く親しまれる建物が育ち、地域環境の向上に寄与するものと考えます。環境配慮の具体的手法はプロジェクトごとに設計チームが地域環境・地球環境の側面から技術的検証を徹底することで、顧客の夢を創造し関係者や地域の人々に喜ばれ、親しまれるカタチを実現します。



地域・社会活動でまちを元気にする

私たちは、「建築が人と人を結ぶ役割」を大切に育んでいます。地域まちづくりとの連携^{*1}や建築が契機となる活動^{*2}を積極的に支援しています。また社会と設計事務所とのよりよい関係づくりのため、さらに次世代の人材育成のために、会社見学や高等教育・大学機関への講師の派遣、国内外のインターンの受け入れなど、社会に開かれた組織設計事務所としての取り組みを積極的に行っています。人とまちを元気にするため、建築を通じた社会貢献をこれからも継続していきます。

*1 取手アートプロジェクト、平河町ミュージックス、北大江地区まちづくり実行委員会
*2 関西フィルハーモニー管弦楽団、サントリーホール、日本テレマン協会

変わったもの 変わらなかったもの 変わるべきもの

伝えられるメッセージは何か。

一年余り思いを馳せる中で、「変わったもの」そして「変わらなかったもの」がありました。

「変わったもの」それは私たちの意識です。

組織・チーム・個人とはどうあるべきかを自問自答し議論を重ねた結果、普段と違う立ち位置で安井建築設計事務所や社会を俯瞰する目を持てるようになりました。

この目は、今後自分たちが進む道に大きな変化をもたらしてくれるはずです。

「変わらなかったもの」それは私たちのスタイルです。

限定された時間の中、策定業務には真剣さと笑顔がありました。

互いを励まし、時には意見をぶつけあい、理念や環境について1つひとつ言葉を選びながら深度化を進める行為、その中で変わることなくあぶりだされた私たちの姿勢や理想が「YASUI STYLE」の項目にあるべき姿として描かれていきました。

そんな中、「変わるべきもの」が1つ見つかりました。

それは「YASUI STYLE」そのものです。

組織が成長するためには変化をしつづけなければなりません。

時代が変わるとともに価値観も変遷する中、社会の要請に応え続けるためには当然のことかもしれません。



周辺住民の気持ちで計画建物を眺めてみては？ 平河町ミュージックスに参加してみては？